

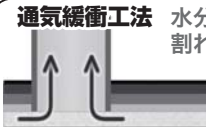
人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

37号

大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702
URL : http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN
RX 工法



BS・ラピタルエースって？

皆さん、速硬型軽量プレミックスモルタル「BS・ラピタルエース」を知っていますか？大日新聞の表紙に載っています。目立たないで今特集したいと思います。

「BS・ラピタルエース」は、防水施工前の下地処理等での不陸調整やコンクリート欠損部を補修する材料として開発された商品です。①速硬であること。②薄付け・厚付けまで対応できること。③軽量であること。④扱いやすいこと。を重視してあります。3.6kgの液材と15kgの粉材の2材構成で、粉材の量を調整しながら薄付け・厚付けまで対応できるので、一般的なモルタルのような現場での水の調達はいりません。

そこで具体的に使用例を紹介いたします。

その1）とにかく時間と勝負な現場

神奈川県にある某病院の手術室の床面の改修工事です。手術室の1つを3日ですべて工事を終わらせるといふ現場でした。既存の床材を撤去し、下地の劣化部をはつり、段差修復し、全面素地調整を行う。再度床材を施工する。というもので、その段差修復材として使用された。その段差は浅いところ深いところ



①防水層の白華が起りにくい
ポリマーセメント系防水材の現場でよく問題になるのが、防水層の白華です。これはセメント成分を含んだ製品でよく見られ、材料の乾燥が遅かった場合や、硬化直後の状態で雨などにより湿潤状態になると、材料中のセメント成分（水酸化カルシウム）が表面に移行して空気中の炭酸

気と反応し、炭酸カルシウムとなつて白くなる現象です。白華が発生しても防水機能や塗膜物性には殆ど影響はないのですが、美観上のイメージが悪く、現場で問題とされる事があります。

特に冬の寒い時期は材料の硬化に時間がかかる上に、早朝の降霜などにより硬化の初期段階で防水層が湿潤状態になつてしまふ事が多く、白華が発生しやすい環境だといえます。

冬用ビッグサンの場合、液材のSC1800にも粉材のR1800にも材料の反応硬化を促進するようにひと工夫されているため（詳しくは企業秘密のため、お話しできませんが）、通年用のビッグサンに比べて、白華が起りにくく材料となつていきます。

今年も冬用ビッグサン販売します！

②材料の配合比がわかりやすい
通年用のビッグサンは液材9kgに対して粉材7kg、水道水1.2kgという配合比率になつていきます。広い面積を施工する場合は特に気にならないのですが、あと2㎡分施工するだけの材料が作りたいたい！となつた時には計算が結構めんどくさかつたりします。

冬用ビッグサンは液材と粉材の配合比が1.1と非常にわ



かり易く設計されてあり、水道水の添加も必要ありません。このため、あと2kgだけ材料が欲しいという場合、液材と粉材を1kgずつ計量して混合すれば必要な分だけの防水材を調整することが可能なのです！

水添加無しという、作業性が悪いんじゃないの？と思われるかもしれませんが、通年用ビッグサン同様、とても塗りやすい材料になつてゐるんです。「本当に？」と疑問に思つたそこのあなた！この冬、是非現場で冬用ビッグサンをお試しになつてみて下さい。

ビックリして喜んで頂けると
思いますよ。

ろができます。速硬型で薄付けから厚付けまでこれ一つで可能ですので、一発充填にて鏝にて仕上げました。次の現場では1時間後には、次の現地調整材を施工してました。

その2）左官職人による新たな下地形成
埼玉県のある団地の浴室防水改修工事にて、防水下地を左官にて形成する際に使用されました。古い団地のため、浴室下地は劣化が激しく欠損箇所が多く、その補修と、新しい浴槽の寸法に合わせ下地の高さ自体も変更するといふ現場でした。水の勾配を考慮しながら、既存のモルタル下地、タイル下の新しい下地を形成。出来たのに使用されました。出た上がつた下地は今までとは別物というくらいにきれいに仕上がりました。タイルには防水材のプライマーを塗布することができました。

速硬型のため次の工程にすぐ進めるため、ちよつとした不陸調整や欠損部充填に最適です。物性面でも養生日数が増むにつれて強度が増し



こんなところで活躍しています

ビル屋上改修



さ、2.1N/m²（28日養生）と、ポリマーセメントとして十分安心しているような箇所にご使用いただけたと思います。

ちなみに「BS・ラピタルエース」の「BS」は「ビッグサン」の略なんです。普段目立たない商品ですが、こちらもよろしくお願ひ申し上げます。



「圧縮強さ29.8N/m²、付着強

スカイレジン＜下地調整材＞
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC-T

水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIG SUN
＜土木用防水材＞



ポリマーセメント系塗膜防水材

BS・ラピタルエース

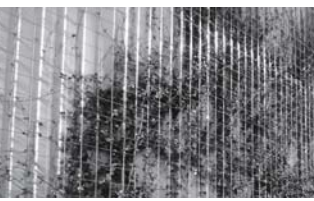


＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

霧ヶ峰シリーズ

節電できる壁面緑化を実現！





ドイツ緑化事情について

ドイツは経済の先進国たけでなく、屋上緑化の分野でも環境先進国とも呼ばれています。ドイツでは1960年代から屋上緑化が普及し始め、現在屋上緑化は毎年1000万㎡増えているとされています。これは日本の50060万㎡に比べて20倍にも相当する量です。ドイツで緑化が普及している大きな理由として、成金制度。そして間接的に自治体で屋上緑化の義務を課しているのが大きな原因とされています。自然の緑が破壊されるのを補うために条例により、屋上緑化が義務付けられている地域もあります。例えば、ドイツでは緑地を削って何かを建てる場合、建築法により完了しなければならぬです。補完の仕方は自由で、やはり屋上緑化という選択が第一にきます。一例としては体育館を建設する際に、ライオン平野の緑地に失われた分を、屋上にセダム類を植えることで補完しています。実はドイツの屋上緑化に期待される主な効果としては、景観ではなくて主大雨の雨に流入する大量の雨水が河川に流入することを避けるための貯留層を作ることです。その原因はドイツでは下水のインフラの整備が整っており、公共下水道の容量が大雨など集中豪雨に対応できないため

です。日本では下水のインフラがかなり進んでおり、雨が降ると貯留槽へ雨水をため、河には直接流れ込まない仕組みになっていますが、ドイツではそういって設備がなく、一旦緑化の土部分に水をため、つまりスポンジのような役目を緑化で担っているのです。一方、日本ではヒートアイランド現象の緩和や、環境問題の取り組みを重視した屋上緑化とされています。日本の薄層屋上緑化は、1996年にドイツからセダムを用いた緑化技術の導入をしたのが本格的な始まりと言われていますが、諸問題が未だ大きく、日本での屋上緑化普及はドイツに比べて遅れをとっています。しかし、地球温暖化、ヒートアイランドなど環境問題が深刻になっていくなかで緑化の重要性は否めません。日本は国土が狭い分、屋上に緑化を設置すると言ったことは、重要なテーマです。自然の緑が破壊されるのを補うために、条例を整備することにより、さらなる面積の屋上緑化が義務付けられることになれば、直接的な目的は違っても、緑化先進国「日本」が誕生するかもしれません。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で対応させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

大日化成株式会社岡山工場技術部所属の水田知典と申します。出身は兵庫県で高校までを過ごし、岡山市内の私立大学に入学し6年間一人暮らしをしていました。卒業後は津山市内の製紙会社に勤務していましたが、昨年4月に大日化成に転職し、現在に至ります。妻と2歳半になる子供（男）とアパートを借り住んでいます。が、やっぱり子供に夫婦そろって手を焼かされる毎日です。趣味は映画鑑賞で主にSFやアクション、コメディ映画を週に2〜3本程度観ています。最近上司や同期の誘いもありゴルフを始めました。終業後に練習場に通っていますがなかなか上達せず、ラウンドがなかなか上手になりません。休日も時間がかかり同行の方に迷惑をかけるほどです。ゆくゆくはコンペにも参加させていたきたいと考えています。が、あと数年はかかりそうです。...



技術部 水田知典

更新などを担当しております。弊社の製品は街中の建物に使用されているものが多く、あまり目立つものではないですが、欠かすことができません。将来は自分が担当した製品を使用していただき、自分の子供に「お父さんが作った製品なんだよ」と胸を張って言えるように日々努力してまいります。

DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803



次号も
お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

Vol.34

映画で学ぶ 環境問題



アウトブレイク
(Outbreak)

監督：ウォルフガング・ペーターゼン

出演者：ダスティン・ホフマン

レネ・ルッツ

モーガン・フリーマン

上映：127分

公開：1995年

配給：ワーナー・ブラザーズ

2016年夏、世界中を歓喜と涙にそめたブラジル・リオのオリンピック・パラリンピック。各国選手の汗がまぶしく、多くの人の感動を呼びました。そのブラジルで開催前から不安視されていたのは、治安の悪化と「ジカ熱」の流行。特にジカ熱は、五輪観戦者が自国にウイルスを持ち帰ることで、世界的大流行をひきおこすのではないかと心配されていました。

これら感染症問題とリンクする映画が、1995年ダスティン・ホフマン主演の「アウトブレイク」です。ダスティン扮する軍医サム・ダンエルズは、アフリカ・ザイールで未知のウイルス「モーターバ」映画上の架空のウイルス。による出血熱と遭遇し、「爆発的な感染」を招いてアメリカ本国に帰国。流行前に阻止しようと東奔西走する。奮闘するのですが、意外にもそれを邪魔するの軍の上層部！実は「モーターバ」は、30年前にアフリカで発見されたウイルスで、これを基にアメリカ軍では細菌兵器とその血清をすでに作り上げていたのです。

さて、感染症ウイルスがオウム真理教をはじめ、色々な団体で細菌兵器として研究されてきたことは周知の事実ですが、エボラやジカ熱のほか「HIV」です。「ある陰謀」によって拡散されているという都市伝説があります。それは「ウイルス感染症は、まず有色人種の地域で発生し、拡散されるが、白人地域（主にアメリカ合衆国やヨーロッパ）に入ったとたんに収束する。これは、人口削減計画によって有色人種を削減し、白人を生き残らせようとする優性論者の陰謀だ」というものです。

さらに、「AIDS(HIV)」は元々、中央アフリカを起源とした風土病が突然変異によりヒトに感染したものとされていますが、実は、最初のAIDS認定患者は、アメリカのゲイの男性だったことも、この陰謀論が根強く語られる要因になっています。彼らによると、白人優性思想をもつ一部のエリートが、有色人種だけをなく「ゲイや貧民層の白人も嫌い、彼らの街を消滅させるべく人体実験をおこなった」とのこと。

計画を知り、町を救おうとするダンエルズが、部下とともに命をかけて戦うというストーリーです。本作は、パンニック映画の要素だけでなく、別れた妻や仲間との愛憎ドラマがあり、軍上層部との緊迫感あふれる推理サスペンスや、手に汗握るヘリコプター・アクションなど、まさに絶頂期のハリウッド最高峰ともいえる要素が満載。もちろんダスティンを筆頭に、演技派のモーガン・フリーマン、ドナルド・サザーランド、レネ・ルッツ、ケヴィン・スペイシー、そして、まだ初々しいキューバ・グッテング、など優れた俳優陣がそろっているからその面白さなど、最近の映画界が忘れてしまった「すべて」が詰まっている素晴らしい傑作です。これを見ずして、何を見る...!!

筆者は、その「追捕」MANHUNT制作班でも業務をしてきたのですが、大阪府警としてスタジオセットされたのは、大日化成・大阪本社目の目の先にある大阪府門真市古川橋の駅前ビル。あの福山雅治さんも、もちろんここで府警捜査員として、拳銃を腰に演技を演じていました。これだけの大作に、大日新聞が多少なりとも関わったことは本当に光栄ですね！来年公開予定ですのでぜひご覧ください！(後日詳細を追報いたします。)